

# 基礎フェーズ 第5回 第6回

## タイムマネジメント アクティビティ定義

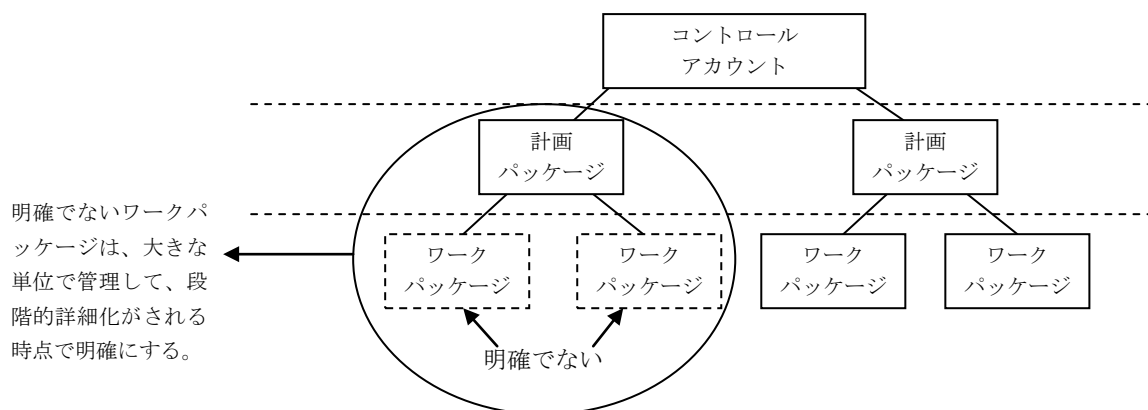
アクティビティ定義の主要なアウトプット（結果）は【アクティビティリスト】の作成です。

### アクティビティリストとは？

WBSによって作られたワークパッケージ（最小の構成要素）を、更に要素分解して、プロジェクトチームメンバーがやるべき作業を確実に理解できる程度に詳細にして、スケジュールアクティビティを作成します。すべてのスケジュールアクティビティのリストを【アクティビティリスト】と言います。

### アクティビティ定義【ツールと技法】

- 要素分解 … WBSのワークパッケージを、スケジュールアクティビティに要素分解をする
- ローリングウェーブ計画法
- 計画構成要素 … ある程度プロジェクトが進行しないと、明確にできない構成要素（ワークパッケージ）は、コントロールアカウント（コスト・スケジュールの管理ポイント）・計画パッケージ（計画上での管理ポイント）単位で管理する



### アクティビティ定義【アウトプット】

- アクティビティリスト … スケジュールアクティビティのリスト。ワークパッケージを要素分解した結果であるが、WBSの構成要素（ワークパッケージ等）ではない

## タイムマネジメント アクティビティ順序設定

### アクティビティ順序設定マネジメント【ツールと技法】

- プレシデンスダイアグラム法 (PDM) 【AON】 基本、終了-開始 (FS) 関係  
…ノードという長方形がアクティビティを表す。アクティビティとはノードに示す最小限の名称。

## 定性的リスク分析【アウトプット】

- リスク登録簿（最新版） … プロジェクト・リスクの優先順位リスト

## リスクマネジメント 定量的リスク分析

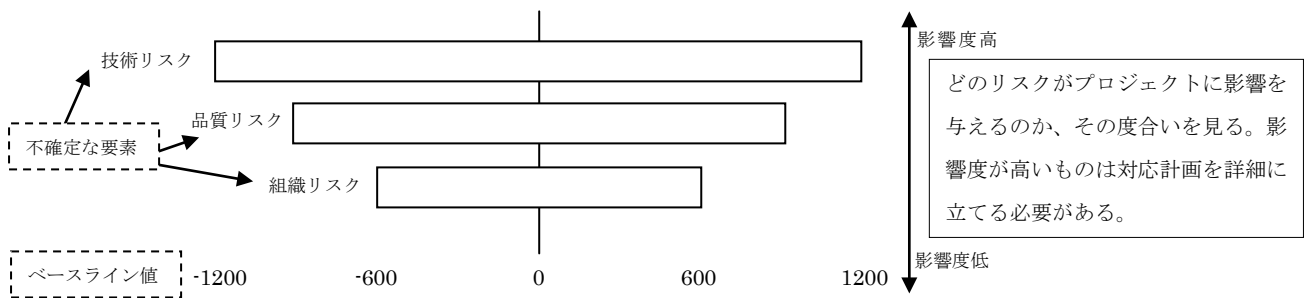
定性的リスク分析プロセスでの目的は主に以下のとおりです。

- 特定のプロジェクト目標を達成できる確率を決定する
- プロジェクトの全リスクに対して、各リスクがどの程度の割合を占めているのかを識別し、一番重要なリスクを識別
- リスクを前提として、達成可能なコスト・スケジュール・スコープの目標を明確化する
- 不確実性の高い条件下において、プロジェクトマネジメント上の最善の意思決定を行う

## 定量的リスク分析【ツールと技法】

- データ収集・表現技法
  - ・ 確率分布 … インタビューによって得た数値（楽観値・最頻値・悲観値）をもとに、ベータ分析・三角分布でリスクを定量化する。
- 定量的リスク分析とモデル化技法
  - ・ 感度分析 … どのリスクがプロジェクトに最も影響を与える可能性があるかを明らかにする【トルネード図】

【トルネード図】



- ・ デシジョンツリー ・ 期待金額価値（EMV）分析 …

下記はデシジョンツリーと EMV（利益×発生確率）分析を合わせて方法です。以下の場合であれば、期待金額価値の高い建物新築を選択します。EMV分析は右側の枝から計算します。

